

平成21年度 第2回田沢湖地域審議会会議録

日時 平成21年10月22日 (木) 午後2時

場所 田沢湖総合開発センター 二階 農林研修室

出席委員

高橋 正男	千葉なみ子	梁田 良雄	井上 幸子
斎藤 英明	石井 和子	今 郁子	高橋 吉幸

会議を欠席した委員

藤村 正喜	千葉 正登	高橋 正治	佐藤 和志
倉橋 重基	眞崎 久仁子		

会議に出席した職員

企画政策課長	高橋 新子
総合窓口課長	三浦 勝
企画政策課主査	阿部 聡
総合窓口課班長	戸村 和子

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
(1) 審議内容(意見)の取り纏めについて
- 4 その他
- 5 閉会

三浦総合窓口課長

本日は、ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。
ただいまより、第5回田沢湖地域審議会を開催いたします。
はじめに会長よりご挨拶をお願いします。

梁田会長

連日の悪天候が治まって、皆さん外仕事が溜まっていて忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今日は取り纏めということで、頑張っ

三浦総合窓口課長

今回は、開催通知の中に第4回会議録と一緒に、会長さんが今までの会議で話し合った事の概要について、纏めていただいた資料を入れてありますので、ご審議を宜しくお願いいたします。

本日は、藤村正喜委員、千葉正登委員、高橋正治委員、眞崎久仁子委員から欠席届が出ております。茂木センター長は他の行事へ出席のため欠席しております。企画政策課長が他の会議に出席のため、4時で退席しますので宜しく申し上げます。

それでは、会議次第によりまして議事を進めたいと思います。議事の進行につきましては、地域審議会の設置に関する協議第7条の規定に基づきまして会長からお願いいたします。

梁田会長

では即、議事に入りたいと思います。先に皆さんにお配りしたものは、自分一人で纏めましたので、これに何か付け加えたり省いたりして仕上げたいと思いますが、如何でしょうか。

井上委員

たたき台が出来ており、何回も会を開いて話し合っていますので、会長さんの纏めたものに尽きると思います。

高橋（吉）委員

今日の会議は、纏めということで会長の作ってくれたものに肉づけするとか、例えば項目ごとに報告書を作成し提出するとかの話し合いですね。

井上委員

そうですね。

梁田会長

要するに、答申というか田沢湖地域審議会として提出するんですよね。それは今日ですか。

三浦総合窓口課長

私が考えていますのは、今日は意見を集約してもらい会議録を作成し、皆さんに送付します。今日は答申する内容をここで審議していただき、それで本当の答申書は次回にしたいと思います。次回は早ければ12月の末若しくは1月の中旬ぐらいに開催したいと思っています。次回の会議で取り纏めて、意見調整するのは難しいと思います。会議はもう1回あります。こういう形は次回1回です。

高橋（吉）委員

前年度の審議会の纏めを、皆さん持っていると思いますがこのような形

式でこれに近いものを、私たちが作らなければならないということですね。
三浦総合窓口課長

そうですね。纏めは、この審議会の方で作成してもらうことになり
ます。

高橋(正) 委員

今日は、会長からたたき台を作って貰ったので、これに付け足したり、
どのような形式にするか決めればいいですね。

梁田会長

形式は後にして、今回である程度纏めて内容の確認確定を急がなければ
と思います。

高橋(正) 委員

先回、私は出席しなかったけど結論が出なくて、会長さんがこのように
纏めてくれたんですね。提言や意見として出すものでしょうか。

梁田会長

また同じ事の繰り返しで堂々巡りになってしまうので、今日である程度
纏めてしまわないと期限に間に合わなくなりますので。

高橋(正) 委員

今日である程度纏めて提出するのか。

三浦総合窓口課長

第3回で纏めて、それ以降に市長に文章で意見を述べることになります。

高橋(正) 委員

会長が纏めたものを提言というか、意見とするのか。

梁田会長

この他に意見があっても、提言があってもいいと思います。

高橋(正) 委員

項目についても、一本化しているが箇条書きにして提出するのか。

梁田会長

それは、お任せします。

三浦総合窓口課長

原案はきちっと纏めて欲しいです。

高橋(吉) 委員

前年の答申の形式というか見てみると、田沢湖と角館とではボリューム
が違って角館は膨大な資料を添付しているが、市はどのあたりを求めている
のか。それは私達に任せるのか。例えば、一つの文章を作るのにかなり
詳しく書かなければならないのか、箇条書きでいいのか？理由付けをして
だすのか？他の地域審議会ではどうでしょうか。

阿部企画政策課主査

他は、まだ2回目を開催してませんのでこれからの作業になります。

高橋（吉）委員

取組みの姿勢が、地域によってかなり違う感じがしたものですから。

井上委員

参考までに、私がこれまでに話題になった項目を箇条書きにしました。

1. 抱返りについての交通二次アクセス
2. 国鱒資料館について
3. イベントの見直し
4. 総合体育館について
5. 田沢湖病院の救急指定について
6. 遊歩道の整備(抱返り・田沢湖畔)
7. 調理人と農業従事者との交流
8. フィルムコミッションの設置
9. 盆踊りについて
10. その他

高橋（正）委員

減反に山菜の栽培という話も出ていましたが、それも入れていくか。

井上委員

他の項目とチェンジするなどして、項目をあまり増やさないで最低限にして検討したほうがいいと思います。ところで、今年の盆踊りはどうでしたか。

石井委員

良かったですね。

井上委員

ナビ・広報で宣伝してましたものね。頑張ったんですね。

石井委員

好評でした。踊り手は多かったです。もう少し観客が多いともっと良かったように思います。

井上委員

来年も期待します。角館のお祭りも人が足りなくて、あちこちから人を集めてやるため、毎年怪我人が出るようです。ここの田沢湖祭りも龍を担ぐ人がいなくて龍担ぎが中止になったようです。このように地域の大事な行事を続けていくことが難しくなっているようです。その点、西木の戸沢氏祭りは盛況で頑張っていますね。

石井委員

ここのお祭りも一つずつでなく、組み合わせて行ったらどうでしょうか。

井上委員

これからの検討課題でもありますね。

高橋（吉）委員

会長さんが纏めてくれたものと、副会長さんが纏めてくれた10項目、それに対して今日は肉付けするということですね。

梁田会長

そうですね。そうしていかないと終わらないですから。

井上委員

これまで話し合ったことは、そういうことに尽きると思います。

高橋（吉）委員

何れ細かい文章については、役場にお問い合わせすればいいとして、私達の話の持って行き方ですが、例えば1. 国鱒資料館についてというように一つずつ話していくべきなのか、そこをなんとかするか。

高橋（正）委員

ある程度、国鱒資料館が必要だとすると前段を添えないと。田沢湖の観光客が著しく減少していること。雨天時など時間を潰す場所がない現状であることなど。

高橋（吉）委員

これからすると、会長さんの纏めた文章にあります。

梁田会長

分解してもらって、肉付けしてもらえばいいと思う。

石井委員

現在の資料館は行って見ましたけど、分かりにくい場所にありますね。

井上委員

会長さんが纏めてくれたものに、10項目は網羅されていますね。

梁田会長

分解して肉付けしていきましょう。

高橋（吉）委員

例えば、1. 地産地消 2. ○○としてやっていかないと、大きくなってしまうと焦点がぼやけて纏めるのが難しいのではないかと。今日のところは、書いたものに沿って話し合ったらどうですか。

井上委員

そうですね。

三浦総合窓口課長

会議録等は私のほうで作成できますが、中身についてですが、私は審議会が初めてで詳しくないですが、地域審議会が必要と認める事項について審議し、市長に対して意見を述べるができるとありますので、意見を述べることによって、先ほど高橋(正)委員が言われたように意見に附帯して提言というか、例えば地産地消についてはこれとこれがあるってこうしていったほうがいいという形になると思います。そういうのをこの審議会で纏めてもらいたいです。そういう作成ぐらひはこちらで出来ると思いますが、皆さんの真意この田沢湖を何とするかということで、皆さん分かっているとおりに、あれもこれもとたくさんあると思いますが。

梁田会長

今から、そのやり方で一つずつ分けて話し合っ、早く提出できる見通しを付けて行きたいと思います。

三浦総合窓口課長

そのほうがやり易いかもしいですね。井上委員が上げてくれた10項目、梁田会長さんが纏めてくれたものについて一つずつ取り上げて、意見を出してもらっていったらいいと思います。

梁田会長

さっそく進めます。時間がないので。

井上委員

現段階に於いて地産地消の取組みはどうでしょうか。田沢・神代・農協婦人部とか、田沢の清水の所でやっているのは季節限定で、10月で終わりですか。

千葉(な)委員

11月30日までです。

井上委員

そういうことでしょ結局。それに付加価値をつけて何とかしていくという話し合いでしょ。

石井委員

実際自分が生産に係わっていないものですから。いろんなグループもあることでしょうし、私達が口出ししても事情もあるでしょうから。

井上委員

話し合いですから、こうしたらどうかなと意見を述べることはいいと思います。この前の話し合いのときは、年間を通して出荷が少なく品物が不足するというものでしたね。

石井委員

お爺さんが作っている家もあるでしょうし、そういう人たちが纏まって清水会で直売所を開いていると思います。

井上委員

実際に直売所に係わっている人に、話を聞けるといいのですが。スーパーの中にも直売所が出てますね。角館にも、田沢湖にも。

高橋（正）委員

高橋（吉）さん、これからの農業は認定農業者が中心になっていくものでしょうから、それに併せて直売所に助成などして国のやることと併せて前回もいろいろ出てましたが、何か良い策がないものか。

高橋（吉）委員

前は直売所に意見が出たから話したんですが、現状からするとお母さん達が頑張って、各地域に店を開いて進行している状況からすれば、当然伸ばしていくことでしょうけど、組織だった形はないです。今そういう時期ではない。認定農業者の関わりでいくと、市として人を何として育てていくかをお願いしたい。農協に預けたというだけでは、これからはどうかという感じがする。米・野菜はそれぞれ特徴のある農家ばかりで、それをなんと纏めて育てていくかということが必要であり、大事であると思います。実態からいくとなかなか難しいところでそこ辺りになると、市が先頭にたって行く現状にならないとは思いますが、農協の考え方も大きいと思いますが、難しいところですね。

高橋（正）委員

直売所の人の問題ですが、佐藤和志さんが山の楽市をやっているが、農家の行く人が決まっているが、別々の人が行って消費者が何を望んでいるのか勉強をと言っていたように人づくりを提言したいと思います。

高橋（吉）委員

この間、生産者・消費者・ホテルの調理人たちの話し合いの場を設けて調理人さんに地元の物を使ってもらうよう話ができましたが、そのような機会を作ってもらうのは、どうしても行政にお願いすることになると思う。この前でた青豆の問題ですが、中仙辺りの生産者は青豆でかなり頑張っているようで、神代辺りは一部かなと思いますが。佐藤（和）さんの話では、青豆で味噌をつくるという話だったけれど私達の分からない部分もありますけど。

梁田会長

豆太は青豆で豆腐を作っています。生産者に依頼して契約栽培をしてもらっている。

井上委員

青豆は生産量が少ないようですね。

高橋（吉）委員

いかにそういうものを、生産者に働きかけて生産量を増やしてもらうとか、流通の問題も出てくると思うがいろいろな方法で解決していかないと、黙っていて生産者が解決するかということとそうでもないと思う。

高橋（正）委員

解決しないですね。誰か、どこかで引っ張っていかないと無理と思います。今、神代カレーが B 級グルメでブームになっているので、それに乗っかって地産地消の拡大はできないものか。

井上委員

田沢の「あじゃら」なども紹介されていましたが、そういうものをアピールしていくと良いと思います。どんな人達が係わっているか分からないが年 2 回神奈川でイベントが開かれ、またタカヤナギで年 2 回食生活のイベントをやっています。それも良いことだと思います。たくさんのお客さんが来ていますから。

今委員

生産者は横の繋がりをもって、ある程度纏まって繋ると大きくなって行くと思います。田沢湖の JA キャッシュコーナー横でも週 2 回直売しているようです。

千葉（な）委員

週 2 回（月・木）で売れ行きがいいようです。

石井委員

皆さん勉強していますから。

高橋（吉）委員

項目毎に一つずつ話していけばどうでしょうか。

井上委員

それで進めています。国鱒資料館については前回話し合っているから、今度はイベントの見直しですね。

梁田会長

地産地消はこれで終わりましたね。

高橋（吉）委員

地産地消は旅館・ホテルと生産者の話し合いの場を設けて、地元の物を使ってもらうということですね。と言っても方法を考えないといけませんが。

井上委員

方法ですが、実際板前さんも仕事が忙しく中々そういう時間を作れない

のが現状のようです。アイデアが必要ですね。

高橋（吉）委員

働き掛ける人がいないと無理ですね。

三浦総合窓口課長

今まで話し合ったことが、梁田会長さんが纏めてくれました「農業について」の中に地産地消のことが網羅されていると思います。

梁田会長

直売所で大きく売り上げを出すとすると、でっかい直売所でないとともなりませんね。

高橋（正）委員

森の駅は神代の人たちでやっているのでしょうか。

梁田会長

阿仁からも入っているし、横手の方からも入っていますね。

井上委員

十文字の直売所もすごいですね。

三浦総合窓口課長

一番すごいのは隣の雫石の直売所ですね。一番儲かっているのではないのでしょうか。何時行ってもお客さんが多いし物も豊富です。午前中に売れてしまい、午後に行くと補充物が少しあるだけです。毎日品物が揃っています。この前、佐藤（和）委員のお話ですと田沢湖の市は、品物が少なく続かないというお話でしたから。

高橋（正）委員

地産地消から考えると地元の行事、例えば刺巻の水芭蕉のときに出す物はかなりの売り上げがあるように思いますが、田沢湖には行事がたくさんあるので、そういうときに積極的に頑張れば良いと思う。

三浦総合窓口課長

継続、持続を何として持っていくかだと思います。

梁田会長

給食に使ってもらうとなると、時期的に同じ物しか採れないので難しいですね。

三浦総合窓口課長

難しいので生産者と使う方と時期・品種・量を調整しシステム化をしながら、納入ルートを作り給食に使ってもらうといいと思います。

石井委員

最終的には生産者と使う方との契約になると思いますが、最初の段階でどこかで中に入ってくれないと、農家だけでは難しいのではないでしょう

か。小さなことから進めて行くと旨く行くと思います。

三浦総合窓口課長

学校給食については、農協・農林課・行政・生産者との打合わせはしております。生産者は1, 2回はいいんですが継続しないというのが現状です。なかなか浸透しません。

石井委員

生産者の意識改革が必要ですね。

井上委員

供給が需要に応じられないとなると、別から入手するしかないですね。それを年間通じて納品できればいいが、品薄になればお手上げになりますので年間契約しても需要に応じれるかどうか重要なことである。

三浦総合窓口課長

今は、農協さんが入ってくれて品物は確保しておりますけど、欠けてくる物もあります。一年間を通して地場産を確保できるよう一つ一つ見直しをしていくことが必要になってくると思います。

梁田委員

給食に使う地元で採れたものは40%でないですか。

三浦総合窓口課長

それは、野菜だけでなく米も含めたものです。目標としては50%で地元産・地元業者からということですよ。

梁田会長

地産地消については、行政で調整会議を設けて生産者と消費者の調整してもらおうということにしていいですよ。

高橋（正）委員

給食センターでは、農協さんも入って生産者と協議しているようですが、生産の段階で品薄にならないように、生産者同士纏まって対処していくように考えて進めていくことだと思います。

井上委員

生産者の横の繋がりですね。

千葉（な）委員

春の作付けの段階で生産者と給食センターと調整しているようですが、その中に直売所の分もあり全体の作付け面積が足りないかなと思います。大量に出荷するとなると難しいようです。

次は総合体育館ですが、今一番古い体育館はどちらでしょうか。造り直さなければならぬような体育館です。

高橋（正）委員

田沢湖では生保内体育館ですね。昭和43年に造られたもので、老朽化し機能的にも劣りますので是非とも。田沢・神代は50年代の建造ですから。体育館利用人数も多いですから。有効活用し全国規模の大会を開けるようになるといいですが。そうして高原に泊まってもらえるといいですが。

齋藤委員

県の施設でしょうがスポーツセンターのグラウンド・芝生も有効利用して行くといいと思います。全国大会が難しいのであれば、秋田県のサッカー・バスケット・ラグビーなど夏場の合宿に使ってもらって、そのサポーターに地元宿泊施設を利用させていただくような形に行けたらいいと思います。

梁田会長

仙台育英は毎年来ています。冬場は金足農業高校が毎年合宿で来ています。その時は、父兄の方達がたくさん来ています。川崎製鉄女子駅伝も来ていました。継続して来てくれるといいんですが。仙台育英は陸上競技場を使うけれどスポーツセンターに宿泊せず自分達でテントを張って節約しているようです。スポーツの大会は救急病院がないことにより難しいようです。修学旅行の集客も救急病院がないため無理なんです。

高橋（吉）委員

救急病院の復活を挙げてやりましょう。

梁田会長

実は農業・観光・医療みんな繋がっているんです。

高橋（吉）委員

全国規模の大会を開くとすると当然体育館が必要であり、生保内体育館では無理でしょう。

石井委員

全国大会ではないが、大きい大会になると前は田沢体育館も使っていたんですが。

梁田会長

体育館も老朽化したからね。

井上委員

これもまた救急病院との関連ですね。次は遊歩道の抱き返りですが、今は角館が主体ですね。観光客は角館のほうから抱き返りに向うお客さんが多いとかコースになっているようです。この会の提案は田沢湖の遊歩道ですよ。田沢湖1周の遊歩道について道幅を広げることです。現在田子ノ木と春山の間左側は側溝に蓋をして走れるようになったが他は怖

くて走れない状態です。春山から少なくとも県民の森まで遊歩道があればいいと話している。県立公園内は規制があるでしょうから。

高橋企画政策課長

湖畔は第1種の規制が掛かっておりまして厳しいです。遊歩道になると、市ではなく県が主体になります。県が観光振興にどのような位置づけをしているか分からない。遊歩道の話はかなり前から出ていたと思います。

高橋(正) 委員

かなり前から、湖岸の崩落と併せて遊歩道の整備も運動しましたが、地権の問題もあり進みませんでした。

高橋企画政策課長

車を入れられないような規制案もありましたが、そこで生活している方の生活路線であることから無理であるとなりました。

高橋(正) 委員

今、湖畔の入口の側溝に蓋をして幅を広げていますね。

高橋企画政策課長

湖畔からハーブの辺りまで、山際の工事をしてますがあれは県ですね。

高橋(正) 委員

少しずつ整備してもらおうと良いですね。

高橋(吉) 委員

春山と県民の森の間にキャンプ場がありますが、その途中までは湖岸と歩道と一帯となっていて車で行くこと出来ますが、その先は林になっております。もう少し延長することが出来ないかと思っております。湖岸工事をやるとコンクリートで歩道も出来ていくので、湖岸工事と併せて歩道も出来るんですね。御座の石の方は、蓬萊の松まで道路が出来ている。その先は先達から来る川のため行かれない。田子ノ木の方はキャンプ場の入口まで出来ている。もう少し延ばして欲しいけど、県の仕事なので難しい。

高橋(正) 委員

田子ノ木から大沢へ抜けて行く大きい道路は、自転車で通れますか。

高橋(吉) 委員

あれは出来ている。下ですね。1周となればかなり難しい。

石井委員

何十年も変わってない。

梁田会長

30年間変わっていない。難しい。

高橋(正) 委員

難しいけれど必要なものだから。

高橋企画政策課長

自転車・散策する人たちが増えてきていると思うので、ニーズに対応できるように要望していけば良いと思う。

石井委員

そういう要望は何年も前から続けていると思いますが。

井上委員

次はフィルムコミッショナーの設置についてですね。角館はあるでしょうが、田沢湖にもありますか。

高橋(正) 委員

田沢湖にもかなり来ているものでしょうね。鶴の湯・休暇村の方面に来ているのでしょうか。

井上委員

鶴の湯はメディアに頻繁に出てきますね。映画を撮るというのは、ミステリーを2～3本撮るのでしょうか。

高橋(正) 委員

前に「はだかの大将」というのが来た時は、かなり応援しなければならなかったものでした。その経費を地元で負担しなければならないものでした。

井上委員

いいアイデアですけど、宣伝してやるから経費を持ちなさいというのですね。

梁田会長

救急指定病院についてですが。

井上委員

スポーツセンターとも関係有りますし、是非。無理でしょうが考えてもらいたい。

高橋(正) 委員

田沢湖の観光・住民の生活すべてに関係しますね。地域審議会からも強くお願いしたいです。

石井委員

ほんと強くお願いしたい。家では救急車の音が聞かれなくなった。前はまた玉川温泉だなんていう感覚でよく話してましたから。

高橋(吉) 委員

何回も言うけど、今の観光で救急指定病院が無いことで観光客が来なくなったとなると、難しいことですが救急指定病院に是非ともお願いしたい。

梁田会長

次は国鱒資料館についてです。

高橋（正）委員

資料館には今1人張付いて細々とやっていますが、場所的にも目に付きにくく、老朽化している。古い建物は壊して中の物は田沢の交流センターの方へ移してあります。田沢湖は雨の日に無料で休む場所が無いのでその辺も考えていかないと。

千葉（な）委員

オートキャンプ場の縄文の家、素敵なものがあるのにもったいないですね。

井上委員

角館のNTT跡にトイレの付いた休憩所がありますが、ほとんど休んでいる人はおりません。すぐ隣に西宮家があるのに、なぜそういうものを造ったのかと思います。田沢湖の場合はただトイレだけでなく展示物を見て、お茶したいと言う人もいるでしょうから、その点も考えなければと思います。

高橋（正）委員

田沢湖活性化のために粹な提案をしてください。

高橋（吉）委員

元の資料館は古くなって壊したのですか。八角形だから格好良かったな。あつという間に壊してしてしまったな。今の国鱒の資料館は新しく造ったものです。

高橋（正）委員

鉄骨だったし、管理が悪かったので腐食しました。

梁田会長

鉄骨は水分でだめになるから。

高橋（正）委員

管理を良くしないとそうなる。

梁田会長

他に何かありますか。早く進めていかないと時間がないですから。

石井委員

分かりやすい場所に資料館があればいいと思います。田沢湖一周する時、どこにいても休む処、トイレがあります。そしてパレス・レストハウスでもゆっくりできますが、どんな無料の休憩所があればいいんでしょうか。

梁田会長

国鱒資料館です。

高橋（正）委員

国鱒資料館に併設して休憩所も造るということです。

井上委員

人件費が掛かりますね。

石井委員

市で経営するのですか。

高橋(吉) 委員

食堂とかに入ってはゆっくり休めない。また湖岸にある東屋では、寒くて休めないのもそういうことも含めて、きちんとした国鱒資料館に加えて休憩所を造って欲しい。もう少し展示物を観光客に見てもらいたい。前は入館料200円でしたけれど、今は無料になってます。今の場所ですと、分かりにくいと思います。県で県内各市町村に皆一律に建物を造ったのではないか。潟前山の資料館はどうなっていますか。

高橋企画政策課長

違うと思います。潟前山の資料館は昔の農林産業に使った道具、日常に使った道具を保管する場所が無いということで造った資料館です。

高橋(吉) 委員

自分があちこち廻ってみると、雄物川・横手など郷土資料館があるんですよ。そういうもので造ったのかと思いましたが。

高橋企画政策課長

確かに補助事業ではやっていますが、県の一律的な政策で造ったのではない。

高橋(正) 委員

当時はブームでしたから。スキー場・ゴルフ場のセットと同じでブームだった。それぞれ工夫して補助金を使って造ったものでした。

高橋企画政策課長

入館者はまずないですね。資料館・博物館とかは、かなりの展示をしないと人は集まらないです。

梁田会長

恥ずかしくて、資料館に行ったほうが良いつて薦めれない。

高橋（吉）委員

潟前公園の資料館は良い場所ですね。

高橋企画政策課長

田沢湖を上から見下ろせる所はそんなにはないですね。駒ヶ岳と田沢湖を一望できるので、景色はすばらしい。

千葉（な）委員

知らない人が多いので、もう少し宣伝したらいいと思う。

高橋企画政策課長

前は管理人がいて、200円位しておりましたが、現在のことは分かりません。資料館には管理人がいないかも、管理棟の方に一人います。

梁田会長

常にはいませんね。

高橋(吉)委員

春山の資料館もお客さんが来ないと言ってあの状態ですし悪循環です。見せるもの、見てもらうものを今一度見直しが必要であるし、国鱒は世界に一つしかないものなので、みんなに見てもらいたい。

梁田会長

場所を移して建て替えをして、中身の充実を語りお客さんに薦めれるような資料館にしてもらいたい。後は、纏めてもらってということでしょうか。

三浦総合窓口課長

今までの話を聞いていると、市の職員が纏めるということですが特別他に付け足すことはないですね。案というのは、今まで話したことに尽きますね。

高橋企画政策課長

意見書の纏め方ですが、皆さんが取り纏めた意見が政策に反映されるよう考えるときに、後の作業をする立場からすると例えば項目・地産地消を挙げておりますが、その下に項目を取り巻く背景・課題が2～3行くるかと思えます。それに対して、解決策の意見・提言・要望を挙げて欲しい。具体的な取組方法を挙げていただくとなお良いです。

三浦総合窓口課長

問題点はいっぱいありますが、それを何とするかということなので高橋課長が言った方法で纏めていくと良いと思います。今日の会議が5回目なので、あと1回で意見・提言の提出となりますが纏めの方法として、会長さんにばかり負担が掛かっても大変ですから、次回の会議前までに委員の皆さんから、個々に項目毎に意見・提言の具体策をお考えいただき、総合窓口で取り纏めるということでもいいでしょうか。項目が決まっていますので、委員の皆さんに用紙をお届けしますので出来次第窓口にお願いします。

阿部企画政策課主査

市への提言ですが、3地域審議会から挙がってくる形になります。市長の方へどのように報告・提言する形にするかを、こちら企画政策課で考え

させていただきますので、宜しくお願いします。

三浦総合窓口課長

それでは、今日の会を閉じます。長い時間お疲れ様でした。

閉会 3時55分

仙収田窓第101号
平成22年 1月14日

監査委員事務局長
芳賀 弘 幸 様

田沢湖地域センター
センター長 茂木 正道

平成21年度定期監査に関する資料の提出について

平成21年12月9日付仙発監第71号で依頼ありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。